

2017年5月10日

各位

会社名 株式会社アサツー ディ・ケイ
代表者名 代表取締役社長 植野 伸一
(東証第一部 コード番号:9747)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション室長 中島 香
Tel 03-6830-3855

ADK CSV Report 2017

あの震災から、新たな旅立ちまで。
6年間をおさめた、南三陸からのフォトレター

『南三陸から vol.5 2011.3.11～2017.3.3』刊行

株式会社アサツー ディ・ケイ（本社：東京都港区 代表取締役社長：植野伸一 以下 ADK）は、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県南三陸町で、震災直後から現地の様子を撮影し続けている佐藤信一さんの写真集『南三陸から vol.5 2011.3.11～2017.3.3』を刊行します。

本書は、2011年9月から刊行している写真集シリーズ『南三陸から』の第5弾となります。

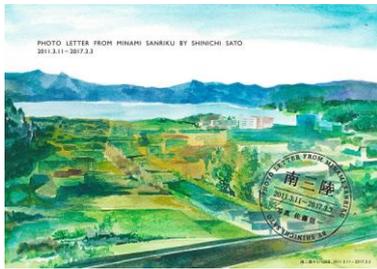
第5弾でお伝えしたいのは、「震災から6年を経て、変わる街並みと変わらぬ思い」。2011年3月11日の震災当日から、津波で大きな被害を受けた「南三陸さんさん商店街」が仮設での営業期間を経て新たにオープンした2017年3月3日までの街と人々の変化をお伝えする総集編です。

復興へ向かう6年間を象徴するのが、同じ場所で撮影した2枚の写真。震災前日、中学校卒業を記念して撮影した子どもたちと、5年を経て成人した彼らが、もう一度同じ場所に集まって撮影した一枚です。未曾有の震災を経ても、なお力強く復興をしていく街の変遷とともに、子どもたちそれぞれが今を力強く生きる姿を紹介していきます。

写真集1冊につき300円が南三陸町復興のための寄付となります。また、本写真集の発売は利益を目的としておりませんので、刊行のための費用を上回る収益が発生した場合は、その全額を支援金として寄付させていただきます。

本シリーズのVol.1から4までの販売による、現在までの寄付金額は10,600,000円となっております。(2017年3月末日時点)

<写真集概要>



『南三陸から vol.5 2011.3.11～2017.3.3』

著者:佐藤信一

体裁:B5判/72ページ

刊行日:2017年5月15日

定価:1,500円(税別)

*1冊につき300円を南三陸町に寄付。

発行:ADK南三陸町復興支援プロジェクト

発売:日本文芸社

※書店または、Amazonにてお求めください。Amazon:<http://amzn.asia/2zSEzjf>※公式 Facebook:<https://www.facebook.com/minamisanrikukara>

<著者:佐藤信一(さとう しんいち)プロフィール>



1966年、宮城県本吉郡南三陸町生まれ。親子2代、南三陸町で写真館「佐良スタジオ」を営んでいたが、2011年3月11日、東日本大震災の津波により自宅及び写真館を失う。「一番苦しいときの写真を残す。この先、何が起きて、みんなが乗り越えられるように」と、唯一持って逃げたカメラで地震直後から失われた街が元通りになるまでの道のりを現在も撮りつづけている。

<vol.5 2011.3.11～2017.3.3』収録内容(抜粋)>



本写真集に収録されたイメージ・写真をご利用の際、また、著者:佐藤信一さんへの取材等につきましては、下記までご連絡ください。

株式会社アサツー ディ・ケイ コーポレート・コミュニケーション室

平尾、中島 TEL:03-6830-3855 / E-mail: adkpr@adk.jp

<ご参考:「南三陸から」 Vol.1/2/3/4 について>

『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』

東日本大震災で失った物や失った人を、悼みながらも前へ歩もうとする南三陸町の人々。そんな彼らと故郷の姿を 2011.3.11～2011.9.11 の半年間、自らも被災者である佐藤信一さんが撮り続けた写真集です。

震災に対する悲しみや怒りを淡々と表現し、同じ被災者であるからこそ撮り得た、よそ行きではない人々の姿の写真が評価され、第 43 回 講談社出版文化賞「写真賞」を受賞いたしました。

『南三陸から vol.2 2011.9.11～2012.3.11』

第 1 弾の続編として、2011.9.11 から、様々な想いを抱えて迎えた 2012.3.11 の追悼式までを記録した写真で綴るフォトレターです。故郷と大切な人々の姿を未来に残す希望の写真集であり、10 年スパンの復興に際し、求められるのは「つづいていくこと」であるという考えのもと、刊行いたしました。

『南三陸から vol.3 2012.3.11～2013.3.11』

被災地を訪れる人が少なくなってきていた中で、ひとりでも多くの人に訪れてほしいと願いながら綴った佐藤さんの手紙と写真で、南三陸の魅力伝えたい。そして被災地の現状を伝えるだけでなく、ガイドブックとして観光誘致の支援になることも目的として、刊行いたしました。

『南三陸から vol.4 2013.3.11～2014.3.11』

「真の再生とは、そこに生き生きとした生業のあること。人々が行き交い子どもたちが元気に駆けまわり、四季を感じながら生活できてこそ」と信じる佐藤さんが、南三陸町で強くたくましく暮らす方々に焦点を当て、震災以前から撮っていた佐藤さんのルーツとも呼べる「スタジオ写真」の体裁で、その姿をおさめたフォトレターです。

<第1弾『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』写真集収録内容(抜粋)>

